

申込み方法 実施までの流れ

お申し込み

メールor申込みフォーム
から
お申し込みください
renkei@gakuso.provost
.nagoya-u.ac.jp

研究環境支援申し込みフォーム



ご要望の確認
日程調整

ご要望に応じて、実施の
詳細を先生方と打ち合わ
せします



ウェルネス
プログラムの
実施

90分

教員、学生、スタッフ皆さん
で参加して頂きます！



フィードバック・
コンサルテーション

ご要望に応じて、先生方に
フィードバック・コンサル
テーションを行い、
今後の研修・対策について
ご提案します



お問い合わせ



豊田講堂東・野依記念学术交流館隣
地下鉄名古屋大学駅2番出口より徒歩約5分

研究環境支援申し込みフォーム
<https://forms.office.com/r/9dqSHcQb4i>



学生支援本部 学生相談センター 教育連携室
松本寿弥 ・ 石田幸子

開室：平日10:00～17:00
電話：052-789-5805（センター受付）
：052-559-9677（直通）

renkei@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp
<http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/>

研究環境支援



学生・教職員の
チーム・コミュニティ
に働きかける
新たな支援プログラム

名古屋大学学生支援本部
学生相談センター教育連携室

研究環境支援とは

ウェルネスプログラム

個人だけでなく
環境・組織に働きかける

0次支援

緊急時支援
リスク対応

学生支援に関する
データ分析

3次支援
個別相談

2次支援
早期発見早期支援

1次支援
人間力向上支援

部門・全学教育
大学院教育との連携

0次支援

組織・コミュニティ支援

ウェルネスプログラム

目的

- ✓ 勇気ある知識人を育てるために、自由闊達な風土を熟成し、発達させる
- ✓ 大学全体の教育力・研究力向上に貢献する

期待される効果

- ✓ 意識の向上とスキルアップ
- ✓ チーム・コミュニティの活性化
- ✓ 個人・集団・組織の強みと課題の整理

1 アイสบレイク

- アクティブリスニング
- 支えるワーク など…



コミュニケーションカアップのためのワークを体験します

2 コミュニケーションについての小講義

- チーム・コミュニティのあり方についての講義
- BART概念について理解する

BART
boundary authority role ask



大学において目的・課題を共有する共同体である「チーム・コミュニティ」について考えます

次のワークに備えて、チーム・コミュニティの運営(協働・意思決定)について考えます

3 大学生生活絵図



- チーム・コミュニティのイメージを絵として表現するワーク
- 絵図をもとにディスカッション
- チーム・コミュニティのあり方を振り返る

自身の大学生生活を絵に描いてメンバーと共有する体験を通して、個人と集団・組織に関する視点の醸成と理解の促進を目指します

参加者の声

教員、学生から見た研究室がどのような組織かわかり、興味深かった

楽しく、研究室のあり方を見直す機会となった

自分の状態をもっと客観的な視点から、俯瞰した視点から眺めることができた

学生と教員の意識の違いが可視化され、改善につながるきっかけになればと思いました

コミュニケーションにおいて重要な部分と、その難しさを改めて実感できた

必然的に学生・スタッフ全員でコミュニケーションやメンバーの役割というテーマについて議論できるので大変良い

標準のプログラムの他に、ご要望に合わせたオーダーメイドのプログラムもご用意します